

奈良県感染症情報

平成30年 第16週(4月16日～4月22日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.53	(3.94)	→	→	→	↘
2	A群溶連菌咽頭炎	2.15	(1.62)	↗	↗	↑	↘
3	咽頭結膜熱	0.44	(0.15)	↑	↑	↑	↓
4	伝染性紅斑	0.41	(0.06)	↑↑	↑↑	↑↑	↓
5	突発性発しん	0.38	(0.32)	→	↗	↓	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

A群溶連菌咽頭炎の報告数が、先週に引き続き増加しています。また、咽頭結膜熱の報告数も増加しています。予防としては、感染者との密接な接触を避けること、うがいや手指の消毒を励行することが大切です。

伝染性紅斑(リンゴほっぺ病)の報告数が、県北部と中部で増加しています。この感染症で注意すべきものの一つとして、妊婦感染による胎児の異常や流産があります。不顕性感染(感染しているが臨床症状を示さないこと)している人からの感染があるため予防は難しいですが、手洗い・うがいを励行し予防に努めましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザはすっかり無くなり、嘔吐、腹痛、発熱と下痢の感染性胃腸炎が少しあるのみです。花粉症は相変わらずですが、気管支喘息方が増えています。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは見られなくなった。
 幼児でhMPV 陽性例が続いたが、年長児でも咳嗽の強い例がある。
 現在のシステムではhMPV のピックアップ不可。
 アデノ様の高熱例もあるが短期・軽症。
 感染性胃腸炎が持続。他に A 群溶連菌感染症、水痘、伝染性紅斑が僅か。



次回の週報(第17週)は、平成30年5月8日(火)午後発行いたします。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 16 週 4 月 16 日 ~ 22 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54 (0.37)	14 (0.29)	14 (0.43)	11 (0.90)	10 (0.90)	2 (0.33)	3 (0.33)	
インフルエンザ	20 (5.53)	4 (5.44)	6 (4.11)		9 (6.57)		1 (3.83)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	3 (0.09)		1 (0.11)		2 (0.33)			
咽頭結膜熱	15 (0.44)	3 (0.33)	3 (0.33)	4 (0.57)	5 (0.83)			
A群溶連菌咽頭炎	73 (2.15)	9 (1.00)	26 (2.89)	12 (1.71)	23 (3.83)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	188 (5.53)	49 (5.44)	37 (4.11)	46 (6.57)	51 (8.50)	3 (3.00)	2 (1.00)	
水痘	9 (0.26)	2 (0.22)	1 (0.11)	3 (0.43)	2 (0.33)	1 (1.00)		
手足口病	2 (0.06)	1 (0.11)	1 (0.11)					
伝染性紅斑	14 (0.41)	2 (0.22)	2 (0.22)	7 (1.00)	3 (0.50)			
突発性発しん	13 (0.38)	3 (0.33)	4 (0.44)	1 (0.14)	2 (0.33)	1 (1.00)	2 (1.00)	
ヘルパンギーナ	2 (0.06)						2 (1.00)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.11)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)	1 (0.33)	1 (0.33)	1 (0.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	3 (0.50)		1 (0.50)				2 (2.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	4 (0.67)		3 (1.50)		1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市3、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	ウイルス性肝炎1件(奈良市1) 後天性免疫不全症候群1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 梅毒2件(奈良市1、中和1)

❖ 第16週のトピックス ❖

◆薬剤耐性(AMR)対策について

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男							1	1													6	7815	
	女				2	1		4	2							2			1	1	1		14	7787
RSウイルス感染症	男			1	1																	2	129	
	女			1																		1	107	
咽頭結膜熱	男			4		2																6	70	
	女		2	4	2				1													9	70	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	5	8	4	9	7	3	2		3									42	502	
	女			2	3	2	4	1	7	6	2	1	1		2							31	436	
感染性胃腸炎	男		4	22	12	18	8	10	11	5	2	5	5	3	7							112	1459	
	女	1	4	13	7	11	4	11	3	5	3		4	1	9							76	1241	
水痘	男				1				3													5	51	
	女						1		2		1											4	73	
手足口病	男			1																		2	20	
	女						1															1	21	
伝染性紅斑	男					2	4	1														7	25	
	女				1	1	3		2													7	24	
突発性発しん	男		3	6	1																	10	109	
	女			3																		3	83	
ヘルパンギーナ	男						1	1														2	14	
	女																					1	11	
流行性耳下腺炎	男												1										1	10
	女																						1	14
急性出血性結膜炎	男																							1
	女												1										3	18
流行性角結膜炎	男			1			1																1	24
	女																							1
細菌性髄膜炎	男																						2	3
	女																						1	2
無菌性髄膜炎	男																						1	1
	女																						1	1
マイコプラズマ肺炎	男				1																		1	8
	女			1	1																		2	8
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1	1																			2	24
	女		1			1																	2	17

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

